

みんなのギカイ

9月の市議会の内容をわかりやすくお知らせします

目次

- 議案……………P 1～
- 一般質問……………P 4～
- きかせて!あなたの未来
……………P 7



● 9月定例会 ●

宇陀市のこんなことが 決まりました。

9月定例会 9月2日～9月26日
今回の議案は

市長提出議案 … 20件
人事 …………… 7件
計27件

今号では
この中から
4つを
Pick up

全ての議案名と結果は、議会事務局
にお問い合わせ下さい。

Pick up 1

平成27年度決算を認定しました
決算総額は187億円

平成27年度の決算を認定いたしました。
一般会計(市役所内で使ったお金)では、約10億円の赤字となりました。普通会計の決算状況についてお知らせします。

こんな意見が出ました

Q 市民税の滞納対策はどのようになっていますか。又、太陽光発電設備への課税をしていますか。

A 滞納処分については、預貯金等の資産調査を厳正に実施し、差し押さえ等の執行により徴収率を高めています。又、太陽光設備の償却資産への課税は、設置申請等に関係機関での確認等により、適切に実施しています。

Q 財産売却収入及び土地売却収入において、不納欠損額及び収入未済額が9割を占めています。積算の在り方に問題はありますか。

A 土地売却収入の内訳について、その多くが昭和56年度より開始された小集落地区改良事業及び地方改善施策整備事業における分譲宅地と大宇陀地区にある元リサイクルセンター用地売却収入分であり、平成21年度と22年度でそれぞれ価格見直しを行うも、販売価格単価が実勢価格に合わず契約に至っていない事も一要因となっています。

平成27年度決算(普通会計)

単位:万円

	予算現額	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	207億7,454万円	197億9,662万円	187億8,075万円	10億1,587万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	3億6,655万円	4,407万円	3億6,653万円	▲3億2,246万円
霊園事業特別会計	2,633万円	2,343万円	2,175万円	168万円
土地取得事業特別会計	1億7,620万円	1億7,620万円	1億7,620万円	0

Q 不用額が、決算金額に占める割合が増えています。今後は削減していくべきではありませんか。

A 予算を想定以上に計上しなければならぬ項目もあり、不用額となってしまうものもありますが、今後の確かな予算計画や執行を行い、不用額が出ない様に取り組んでいきます。

Q 臨時財政対策債の償還（返済）のための、しっかりとした基準をもっていますか。

A 元利を含めて国から交付税として市に支払われていますが、毎年その金額がいくらであるのかは目に見える形では管理されておりません。今後は、表を作り金額を明確にして管理をしていきます。

● 臨時財政対策債とは
国から交付される地方交付税の不足分を市がお金を借りて補てんすること。ただし、翌年以降に元利を含めて国から交付税で支払われる。

Q 中和法律相談センター負担金（36万6千円）とは、どのような性質のものでしょうか。

A 市民の悩み相談（行政・消費者・税務・多重債務等）の行政サービスを行っています。市で対応できない悩み相談について、中和法律相談センターにお願いしており、市民向けのためのものです。

Q 市内にある3カ所の図書館を宇陀市合併記念事業として統合を検討してはどうでしょうか。

A 公共施設の総合管理計画の中で図書館だけでなく多目的の総合施設のメイン施設として図書館の建設を考えており、検討していく予定です。

Q 昨年度はふるさと納税を2千万円頂いていますが反対に宇陀市から流出した税額はいくらかですか。

A 今年度（平成28年8月末現在）は、60万円にとどまっています。昨年度は、約5百万円が市外に収められており、少しでも改善をする目的でお礼の品を公募して、拡充していきます。

● 全国では200を超える自治体が年間1億円以上ふるさと納税を集めています。そのほとんどが大手のインターネット企業と提携しています。宇陀市も検討をしてみてください。



Q 要保護及び準要保護生徒就学援助費の支給対象生徒数は何名か。及び昨年度と比較し、援助費は増加しているのですか。

A 小学校は、106名、中学校では82名です。援助費は、小中全体で減少方向にあります。

Q 認定区域における下水道整備の進捗状況は、どのようになっていますか。

A 平成27年度締めで、96・1%となっており、26年度よりの進捗状況は、0%です。

Q 量水器取り替えは何年毎に交換しなければならぬのか。又、管末水質検査は、管末全てを実施しているのか。

A 適切な計量確保の為、計量法で定められた水道メーターの有効期限は、8年を基準にしています。又、管末検査は、上水道3箇所、簡易水道19箇所計22箇所全箇所実施しています。



Pick up 2

看護師を目指す方への
奨学金制度を拡充しました。

看護師確保対策として市立病院への就職を条件に、今まで奨学金の対象外であった高等学校衛生看護科に通う学生も奨学金を受けられるように奨学金制度を拡充しました。

こんな意見が出ました

Q 過去にこの資金制度を活用された方は市立病院で勤務をされていますか。

A 平成20年度から制度を始め、在学中も含め現在21名に貸付しています。学校を中退した方はおりますが、就職されてから貸与期間中に辞めた方はおりません。

Q 貸与制度の窓口を拡げて国家試験合格後すぐに市立病院に就職して頂くこの制度は看護師確保に役立っていますか。

A 今回対象としている奈良文化高校は県内外で44の医療機関が募集案内をしており、看護師確保の競争には民間も含めて同じ土俵に立たないという不利である現状の中、この制度はとても有効なものと考えます。

Pick up 3

菟田野こども園実施設計等業
務委託費が繰越となりました

基本設計と実施設計を同一年度予算で編成することで財源確保の上で優位でありましたが、建設予定地の開発許可申請等の建設申請において、計画を上回る処理期間を要することとなり、29年度へ事業の一部を繰越することになりました。

こんな意見が出ました

Q 設計は28年度中にはできないのですか？

A 県との事前協議などに時間がかかり、設計業務が平成28年度中に終わらない見込みとなりましたので、来年度に事業を繰り越します。

Q こども園の開園には影響はありますか。

A 当初の予定どおり進めますので、影響は出ない見込みです。



Pick up 4

市役所内の情報セキュリティが強化されます

市役所内で市民の方の個人情報などを扱うコンピュータをインターネットに接続せずに自治体専用の回線を使うことになりました。

こんな意見が出ました

Q セキュリティはどうなるのですか。

A 事務用の端末は自治体だけが接続できるLG1に接続します。今まではLG1もインターネットも一つのパソコンで接続していましたが、これを分けることでセキュリティを強化します。

Q 事務用の端末とインターネットに接続する端末の2台をつかうのですか。

A そうなりますが、インターネットに接続するパソコンは国の基準では4人につき1台となっております。一人一人に2台のパソコンを用意するわけではありません。

議会のICT化が本格的に始まります。

9月定例議会より全議員にタブレット端末を貸与し、議案書など関連資料をデータ化しクラウド上で閲覧できる、「議会会議システム」を導入しました。これにより、「市民に開かれた議会」の実現と、議会運営の効率化・迅速化、危機管理体制の強化など、さらなる議会改革により市民に信頼され、機能する議会となるため、有効手段の一つとしてICT技術の積極的活用を推進してまいります。



学校給食の地産地消促進事業について

Q 私が最初に一般質問しました26年度からの地産地消率の推移と経過は。



まつうらりくこ
松浦利久子議員

A 26年度10.55%、27年度12.6%、28年度は7月末時点で20.54%となっています。市民団体のプロジェクトチームが加わったことと「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中に数値目標を掲げて補助金の予算化による取組みも増加の要因と考えています。

Q 米を含む給食食材を全て宇陀産にする「宇陀ブランドデー」を年に数回実施できませんか。

A クリアしていくべき課題はありますが宇陀市産 100%により近づけるべく「宇陀ブランドデー」の企画を検討していきたいです。

●その他の質問

薬草を活用したまちづくり事業について

一 般 質 問

聞いてみたいな
こんなこと



一般質問とは？
皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容がありますか？

スポーツイベント等の発展について 新教育長制度の成果と今後について



やまもと ゆうき
山本裕樹議員

Q
スポーツイベントや大会の今後の展開について

A
更に地域が活性化し、宇陀市を知ってもらえるようなスポーツイベントや大会を企画・開催していきたいと考えている。野球専用グラウンドや自転車ロードの整備も検討・計画していきたい。既存の施設についてもしっかりと点検、整備をしていく。特に大宇陀ふれあいドームの雨漏りについては早急に調査し対応していく。今後の対応・対策をしっかりと検討しスポーツイベントや大会を地域の活性化につなげていけるように努力していきたいと考えている。

Q
新教育長制度の成果と今後の方向性について

A
明確な成果が出るのはもう少し先になると思うが発足までの教育委員会の政策を継承し、少しずつではあるが良い成果が出てきている。より一層今までの政策をさらに進化させ教育行政に取り組んでいきたいと考えている。

宇陀市の基幹産業である農林業の 再活性化及び観光戦略について



にしうらまさのり
西浦正哲議員

Q
宇陀市の1次産業の現状をどの様に見ているのか。又、今後の1次産業と6次産業化との兼ね合いに対する市としての考えは…更に、宇陀市における観光戦略に対する構想(取組み)についての考えは…

A
1次産業の現状を見た場合、農林業者の減少・高齢化・耕作放棄地の増加等、厳しいものがあるが、基本となる人と農地の問題を一体として解決していくことが大切であり、「人・農地プラン」を現在17地区が作成しています。又、1次産業と6次産業化の兼ね合いについては、まず、1次産業の再生・活性化が重要であり、新規就労者や農業青年等が意欲とやりがいを持って、取り組める様な施策も必要と考えています。観光戦略については、ターゲットを絞ったプロモーションを行っていく事が大切であり、各種関係機関事業者や近隣市町村との連携事業を進め、一般観光客の意見聴取等、更なる地域活動の為に観光事業を行っていききたいと考えています。

宇陀市の豪雨による 洪水・土砂災害対策は万全か



ただよしろう
多田與四朗議員

Q
河川の堤防は決壊・氾濫の心配はないのか。堤防の総点検等について。

A
水防上重要な箇所について、国や県で定める維持管理計画や指針に基づいて定期点検を実施し、その安全性について確認をしている。点検結果としては、河川堤防に特に問題があるような危険な箇所はないと聞いている。また、昨年度末には国と市で共同点検をしている。本年6月に、木津川上流部大規模水害・土砂災害に関する減災対策協議会を設立し関係機関と取り組んでいる。氾濫等の原因となる堆積土砂の撤去については、緊急性・必要性・重要性の高いところから順次実施。また、H25年度～3か年で、市内の溜池502箇所の一斉点検を実施、詳細調査の必要な8箇所判明。浸水想定や耐震診断等の詳細設計完了後に公表予定。豪雨水害の教訓に学び、危険予想箇所の警戒・監視体制をリアルタイムで行い、住民の避難対策に活かしている。

●その他の質問
移住定住の促進強化について・地場産業等の支援について

介護保険制度見直しに伴う 宇陀市のあるべき姿について



やぎかつひで
八木勝光議員

Q
国の法改正により、来年度から要支援者に対する訪問介護(ホームヘルパー)と通所介護(デイサービス)は、市の新総合事業として実施されることになっている。無資格者やボランティアによるサービス提供は専門性の面で不安がある。安価な委託料で事業者を泣かせないように。また、窓口でのチェックリストの導入で介護申請に至らない場合もある。介護サービスの受給は権利であり、本人の意思を尊重し、質量ともに後退は許されない。市としての積極的な取組みを求めたい。

A
現段階では、「現行相当のサービス」に加え「基準を緩和したサービス」を考えている。既に利用している人は継続してサービスを利用できる。報酬単価は従来のサービスは現状を維持、新しいサービスは若干下げること検討している。今後のボランティア育成は社会福祉協議会と連携し、資格のない人には養成講座を開催する。チェックリストの受付窓口や運用は、現在、検討をしている。新しい事業は、大幅な変更とならないよう配慮したい。

駅周辺の空き地・空き家の現状と対策について

Q

空き家対策支援の充実について

A

空き家に対する支援については、空き家の活用を促進するため、民宿、工房、レストランなど店舗の起業者に対し、設備投資等に要する経費の一部について補助金を交付する制度を今年度から設けています。(改修費用の2分の1 上限100万円) また、あわせて家財道具の処分費(処分費用の2分の1 上限10万円) また、家賃補助(2分の1 上限3万円/月)についても補助をするものです。

利用状況や相談件数については、まだ制度の周知が徹底しておらず、問い合わせが少ない状況です。(大宇陀の空き家に関して1件) 今後も、継続して不動産業者をはじめとして幅広く制度の周知を行ってまいります。

- その他の質問事項
- 榛原駅北都市計画道路開通後の課題解消について
- こども園開園後の課題について



ひろざわたくひで
廣澤孝英議員

奈良県とのまちづくり連携協定の進め方について

Q

昨年12月協定締結した奈良県知事との「まちづくりに関する包括協定」の趣旨や内容、今後のスケジュールについて示されたい。

A

県と市町村、または市町村同士の連携・協働を図り、地域にとって最適な地方行政をすすめる「奈良モデル」の一環としてのまちづくり連携協定です。連携協定の進め方は、まずは包括協定を行ない、地区単位の基本協定、事業ごとの個別協定を段階的に締結する予定です。これにより事業にかかる基本構想や基本計画策定費用の1/2の支援や関係機関の技術支援なども受けられます。この事業の拠点として、大宇陀松山地区周辺、菟田野古市場周辺、榛原駅周辺、室生寺門前及び室生口大野駅周辺の4ヶ所をまちづくりの拠点と定め事業を行っていきます。地域との合意形成は不可欠であり、合意形成を得られたところから事業を開始していきます。後世に誇れるまちづくりへの地域の理解、協力をよろしくお願ひします。



きくおかちあき
菊岡千秋議員

事業評価と行政改革について

Q

市立病院が導入をしている民間の経営管理手法であるバランススコアカードを公営企業である「さんとびあ」と水道局も導入を検討してはどうか。

A

「さんとびあ」では経営改革に向けて事業の分析等を進めている。将来的には導入についても検討をしていきたい。水道局も将来のビジョンの策定と併せて導入を検討する。

Q

行政評価はどの部署が担うべきか。

A

現状では行政評価は行政改革を担当している総務部で行うことが望ましいのではないかと考えている。

● 意見

行政評価や行政改革はどうしても目立ちにくく、各部署に負担を強いることもある。しかし、地道な取り組みを進めていくしかない。行政評価は継続してもらいたい。



かついたろう
勝井太郎議員

介護について

Q

介護システムはどのようになっているのか。

A

介護認定申請は、本人、家族またはケアマネージャーが申請できます。申請窓口は本庁介護福祉課及び地域事務所・宇陀市医療介護あんしんセンターとなっています。次に訪問調査が行われ、調査内容は簡単な聞き取りであり、介護認定審査会(桜井宇陀広域連合)において、介護の要不要および要介護状態の判定が行われます。この際、訪問調査の情報や主治医からの意見書により審査されます。審査会は医療・福祉・保健に関する有識者によって構成される組織です。原則として30日以内に本人に通知され、介護認定審査会の結果は自立・要支援(1~2)・要介護(1~5)の三区区分となります。区分により受けられる介護サービスが異なります。

● コメント

個人情報の管理には万全を期して頂くと共に各機関・介護施設そして病院が的確な連携を取って頂きたい。



にしおかひろやす
西岡宏泰議員

きかせて！あなたの未来

No.6

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



私の夢は、バドミントンで日本ジュニアナショナルチーム（U16）に入ることです。ナショナルチームに入れたら、東京の味の素ナショナルトレーニングセンターで専任コーチから本格的な指導を受けることができ、国際試合も経験させてもらえます。

先日、愛媛県で行われた JOC（ジュニアオリンピック）大会では、目標のベスト8には、入る事が出来ませんでした。もっともっと練習をし、全国大会でベスト8以上に入れるように日々努力し、目標に向かって精一杯頑張りたいと思います。

すずき さやか
鈴木 沙也夏さん（榛原中学校2年 14歳）

募集します！
きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて!あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。

今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？

住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。

年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

次回12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
				12/1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (議案提案)			本会議 (議案質疑)	常任 委員会	
11	12	13	14	15	16	17
	常任 委員会	予算 委員会				
18	19	20	21	22	23	24
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		本会議 (討論・採決)		
25	26	27	28	29	30	31
	予備日					

10：00開会（変更の場合があります）

編集後記

編集委員
八木勝光

ブラジルのリオデジャネイロでは、8月のオリンピックに続いて9月にはパラリンピックが行われました。人間の限りない可能性への展望と、幾多の感動を残してくれました。パラリンピックに出場できるのは、障害者でも一部の選ばれた人たちですが、そこに光が当たることにより、振り返っ

て私たちの身近な仲間たちのくらしがどうなっているのか、見直す大切なきっかけとなります。障害があってもなくても、共に生きやすいまちづくりが私たちに課せられた大切な課題であることを改めて教えてくれました。

お問い合わせ(議会事務局)

電話 0745-82-5771
IP電話 0745-88-9082
FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<http://www.city.uda.nara.jp/>